

いちき串木野市串木野駅周辺開発全体構想（案）に対する意見募集の結果
（意見募集期間：令和８年４月８日（水）～同年４月２９日（水）まで）

No.	意見提出者	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	構想への 反映の有無
1	個人	流通センターの誘致を求める意見。	プリマハム鹿児島工場跡地（以下「跡地」という。）に導入する機能に関するご提案として承ります。 具体的な導入機能については、今後、基本計画等の段階において、民間事業者の意向、周辺環境及び交通への影響等を踏まえ、検討して参ります。	無
2	個人	串木野駅周辺の開発構想について、地域の将来を見据えた取り組みとして大変期待しています。 現在、子ども向けの補助金制度が充実している点は、子育て世帯にとって非常に心強く評価できる施策だと感じています。一方で、その制度を日常生活の中で十分に活かせる環境整備が追いついていない現状も感じております。 特に、駅周辺には子ども連れのファミリー層が安心して利用できる飲食店や商業施設が少なく、日用品の購入や外食のために市外へ出る必要がある場面が多くあります。この状況は、子育て世帯の負担であると同時に、地域内での消費機会の流出にもつながっていると考えます。 つきましては、以下の点についてご検討いただきたく提案いたします。 ・ファミリー層を意識した商業施設の誘致 （子ども連れでも利用しやすい飲食店、日用品店舗等） ・駅から周辺施設・イベント会場への安全な動線整備 （歩道橋の設置など、子どもや高齢者にも配慮したインフラ整備） ・雨天時でも利用可能な屋内遊戯施設の整備 （天候に左右されない子どもの遊び場の確保） ・安心して利用できる公園の充実 ・広域集客を見据えた複合型商業開発の検討 単独での大型店舗の出店は、商圈人口や採算性の観点から難しい場合も想定されるため、外資系大型量販店のような話題性・集客力のある業態を参考にしつつ、複数の専門店や体験型施設を組み合わせた「複合商業施設」や「小規模アウトレット型施設」など、現実的な開発手法の検討を希望します。 これにより、市内利用にとどまらず、市外・県外からの来訪者増加による交流人口の拡大、地域経済の活性化が期待できると考えます。 これらの整備により、子育て世帯がより安心して暮らせる環境が整い、定住促進や地域の活性化にもつながるものと考えています。 私は地元の街をより良くしていきたいという思いから、本提案をさせていただきました。補助制度と生活環境の両面が連動することで、より魅力的な地域づくりが実現されることを期待しています。また、今までいちき串木野市を守ってきたお店も大事にしつつ、今までにない発想の展開で新たないちき串木野市の魅力を多くの方に伝えたいです。	子育て世帯が日常生活において利用しやすい環境を整えることは、定住促進や地域内の経済循環の観点からも重要であると考えています。 ご提案の商業施設、複合型商業施設等については、跡地に導入する民間機能に関するご提案として承ります。また、安全な動線、屋内遊戯施設、公園等については、公共的機能や周辺道路等の整備を検討する際の参考とさせていただきます。 具体的な導入機能、施設規模及び配置等については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。その際、公共的機能については、市としての整備方針、必要性、財政負担及び既存施設等との役割分担を整理し、民間機能については、民間事業者の意向等を踏まえて検討して参ります。	無
3	個人	①シミュレーションゴルフ、トラックマンを導入したゴルフ練習場。県内でかなり少数。 ②中世ヨーロッパ風な図書館	跡地に導入する機能及び施設の意匠に関するご提案として承ります。 具体的な導入機能、施設規模及び施設については、今後、基本計画等の段階において検討し、意匠については、個別施設の設計段階において検討して参ります。	無
4	個人	駅周辺だからと、車で来られないようにはしないで欲しいです。駐車場設備をしっかりとせる、飲食店が入るのであればドライブスルーを導入できる店舗など、車社会の地域ならではの	本市においては、自家用車による移動が日常生活の主要な移動手段の一つであることから、跡地の整備に当たっては、自動車によるアクセスにも配慮することとしています。	無

No.	意見提出者	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	構想への 反映の有無
		場所にして欲しいです。 また、地方のステージ設備などは時間が経てば活用されず廃れることが多いイメージです。ステージ設備は定期的に活用できるイベントとセットで構想をした方が良いと思います。 個人的には、気軽に立ち寄れるカフェがあると休日に足を向けたくになります	駐車場の規模や配置、車両動線等については、歩行者等の安全性にも配慮しながら、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 また、ご提案のステージ、カフェ等については、飲食、交流及びイベント等を通じた賑わいの創出に関するご提案として承ります。具体的な導入機能については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。	
5	個人	大人でも気軽に運動できるような屋内アスレチックがあるとうれしいです。 遊び感覚で運動したいです。	跡地に導入する遊びや運動に関する機能のご提案として承ります。 本構想では、「学びと遊び」をコンセプトとし、日常的な娯楽及び多世代が利用できる機能を想定しているところであり、具体的な導入機能、施設規模及び運営方法等については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。	無
6	個人	12ページ 工場跡地は内水浸水想定区域であるとして、中高層建築(4～6階建て程度)を1棟以上建設し、非常時の垂直避難場所を確保すべきである。その場合周辺住民の垂直避難場所にも利用できる。 48ページ 「将来的には JR串木野駅の東西をつなぐ動線の可能性を検討」とあるが、これは東西自由通路を建設するということなのか。JR伊集院駅のような橋上駅舎にできれば最善であるがJR九州の協力が欠かせないうえに費用も多額になる。したがってアンダーパス(地下通路)や跨線橋といった案も考えるべきであるが、ここは重要な部分なので早めに決定すべきである。 49～51ページ 民間誘導ゾーンについて、市内・県内の資本だけではなく県外資本も含めて幅広く誘致を検討し、経営者視点ではなく消費者視点での利便や利益を第一に考えるべきだ。 鹿児島市内や姶良市・霧島市にあるような全国展開の小売店が、いちき串木野市を含めた西薩・北薩には存在せずそれが「日本中にある店がここには無い、買い物が不便で住みづらい」に繋がっていると考えられる。住民の大部分は消費者であるということを大前提として計画を進めてほしい。	○12ページ 内水浸水想定区域は、下水道事業計画区域を対象として、想定最大規模降雨が発生した場合の浸水範囲及び想定される最大の浸水深を示したものです。 ご意見の跡地については、内水浸水想定区域の対象外となっていますが、周辺に浸水が想定される区域があることから、防災機能については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 ○48ページ 駅東西をつなぐ動線については、現時点で東西自由通路、橋上駅舎又は地下通路等の特定の整備方式を前提とするものではありません。 交通アクセスや歩行者ネットワークは、跡地活用に当たって重要な要素であることから、整備効果、事業費、JR九州をはじめとする関係者との協議等を踏まえ、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 ○49～51ページ 商業施設等の民間機能については、市民の生活利便性を高めるとともに、地域内の経済循環に資するものと捉えています。 民間事業者の誘致に当たっては、ご意見の趣旨も踏まえ、市内外の事業者を含め、幅広い可能性を検討して参ります。また、具体的な導入機能については、民間事業者の意向等を踏まえ、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。	無
7	個人	サッカー場を作るべき。 本市には日本一になった神村学園があるが地元で試合を見ることがない。同校はプレミアリーグに所属しておりハイレベルな見応えのあるゲームが毎試合繰り広げられるが、鹿児島市や加世田等市外で開催されるのは非常にもったいない。プレミアリーグは注目度も高く、多くの観客が訪れる。鹿児島城西高校は学校の前にグラウンドがあり、チアや吹奏楽の応援があり活気にあふれた空間になる。出店も来ている時がある。駅の目の前にありアクセスは最高である。天然芝のグラウンドは非常に貴重である。プレミアリーグの試合を行うことでまちに活気が出る。飲食店等を利用する観客も出るだろうから経済効果もある。地元で試合を行うことで選手も気合が入るし、コンディションの調整もしやすくなる。その結果、好成績が期待できる。チアや吹奏楽の応援もしやすくなり、そうなれば活気に満ちた空間になる。市民の新たな娯楽が増える。鹿児島城西高校との試合を開催したら多いに盛り上がること間違いなし。いぶすきフットボールパークのような施設を作ればよい。神村学園だけでなく、小学校・中学校・その他の高校・大学・社会人・女子サッカー等、色々なカテゴリーのゲームに使える。試合の前にダンス等の披露もできる。スポーツ振興になる。地域活性化になる。プレミアリーグは全国有数の強豪校。Jリーグの下部組織が所属しており全国から人が集まる。特にJリーグの下	スポーツ振興及び交流人口の拡大に関するご提案として承ります。 スポーツを通じた地域の活性化の視点は重要であると考えていますが、跡地への導入機能を検討するに当たっては、整備費、維持管理費及び年間を通じた利用見込みのほか、他の導入機能との優先順位等を総合的に勘案する必要があります。 本構想では、「学びと遊び」をコンセプトとし、日常的な娯楽、知識・情報獲得、探求・挑戦、イベント・まつり等を跡地の「顔」となる機能として整理しているところであり、具体的な導入機能については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。	無

No.	意見提出者	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	構想への 反映の有無
		部組織の試合にはサポーターが遠くから訪れる。サッカーのまちで地域振興すればいい。本市の住民が直接観戦することで熱心なサポーターができる。熱烈な応援でチームの士気もあがる。小学生・中学生がハイレベルな試合を間近で見ることでモチベーションも上がる。 以上のような効果が期待できるため、サッカー場を作るべき。		
8	個人	串木野駅周辺開発は、単なる駅前整備や施設整備にとどめるのではなく、市民が日常的に使いやすい、若者子育て世帯高齢者来訪者が自然に集まり、定住促進や人口増加にもつながる「まちなかの中心拠点づくり」として進めることが重要と考えます。 特に、全国的な成功事例を踏まえると、駅周辺の活性化には、駅前広場、公共交通、歩行者空間、商業、住まい、子育て、学習、交流機能を一体的に整備する視点が必要です。富山市のように公共交通を軸としてまちなか居住や中心市街地活性化を進める考え方、また、豊島区や小山市のように道路-広場を社会実験により使いながら改善していく手法は、本市においても参考になると考えます。（成功例を積極的に取り入れて欲しい） 具体的には、串木野駅周辺を「駅から始まる、暮らし、交流、挑戦のまちなか拠点」と位置付け、次の内容を構想に明確に盛り込むことを提案します。 1点目は、駅前広場を「まちのリビング」として整備することです。屋根付きの待合スペース、ベンチ、日陰、照明、トイレ、授乳おむつ替えスペース、バリアフリー動線などを整備し、高齢者、障がい者、子育て世帯、学生、観光客が安心して利用できる空間とすることが必要です。また、マルシェ、キッチンカー、朝市、チャレンジショップなどが実施できるよう、電源や給排水、荷さばきスペースも検討が必要と考えます。 2点目は、公共交通の結節機能を高めることです。 鉄道(JR)、バス、タクシー、送迎車、自転車、徒歩の動線を分かりやすく整理し、交通弱者でも利用しやすい駅前とする必要があります。特に、バス待合環境、駐輪場、シェアサイクル、デマンド交通との接続などを検討し、駅を市内移動の起点として機能させることが重要です。 3点目は、駅から周辺商店街、公共施設、学校、医療機関、観光資源へ歩いて回遊できる環境を整えることです。歩道の段差解消、案内サイン、夜間照明、ベンチ、植栽、カラー舗装等により、車中心ではなく、人が歩きたくなる駅周辺にしていける必要があります。国の「まちなかウォーカブル推進事業」や「ほこみち（歩行者利便増進道路）」制度の活用も検討し、道路空間を通行だけでなく滞在、交流、出店の場として使えるようにすることを提案します。 4点目は、若者、子育て世帯が使いやすい機能を導入することです。学習、自習スペース、Wi-Fi、電源、コワーキング機能、子育て世帯が短時間立ち寄れる屋内休憩スペースなどを、駅周辺の既存施設や空き店舗を活用して整備することが有効と考えます。若者や子育て世帯が日常的に利用できる場所が増えることは、定住意欲の向上にもつながります。 5点目は、空き家、空き店舗活用と移住定住施策を一体的に進めることです。駅徒歩圏の空き家、空き店舗を調査し、リノベーション可能な物件を見える化するとともに、若者、移住者、子育て世帯、起業希望者が活用しやすい支援制度を検討すべきです。公共整備だけでなく、民間の小さな投資や新規出店を誘導する仕組みが必要です。	前段について、まちづくり全体に対する考え方へのご意見として承ります。 ご意見のとおり、駅周辺の活性化に当たっては、個別の施設整備にとどまらず、駅東口を整備するとした場合の駅前空間や交通のあり方、商業、暮らし・生活、交流等の機能のあり方を含めて、総合的なまちづくりとして検討することが重要であると考えています。 また、公共交通を軸としたまちなか居住や中心市街地の活性化、さらには道路・広場空間を柔軟に活用していく取組など、先進的な事例に見られる考え方についても、本市における今後の検討において参考になるものと受け止めています。 中段について、ご提案のカフェ、イベント利用、学習・交流機能、子育て支援機能等は、本構想における「学びと遊び」や跡地の「顔」となる機能の方向性と共通するものと捉えています。具体的な導入機能、施設規模及び配置等については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 駅東西をつなぐ動線、交通アクセス、歩行者ネットワーク等については、跡地活用に当たって重要な要素であることから、整備効果、事業費及びJR九州をはじめとする関係者との協議等を踏まえ、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 空き家、空き店舗の活用、移住定住施策、観光、地元産業等との連携については、跡地活用にとどまらず、駅周辺のまちづくりや関係施策にも関わるご意見として承ります。今後、関係部署と連携しながら、検討の参考とさせていただきます。 後段について、事業の進め方に関するご意見として承ります。 社会実験を通じた段階的な整備や効果検証のための指標設定のほか、関係主体が参画する推進体制の構築等については、実効性のあるまちづくりを進める上で重要な視点であると認識しています。段階的な整備や効果検証の手法については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 また、本構想の策定に当たっては、庁内の関係部署で構成する検討会において、交通、都市計画、商工、子育て等の観点から検討を行っているところです。今後も、関係部署との連携を図りながら、地域団体等の意見を踏まえ、基本計画等の検討を行って参ります。	無

No.	意見提出者	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	構想への 反映の有無
		6点目は、地元産業や観光と結びついた「駅前顔づくり」です。まぐろ、焼酎、港、歴史、自然、祭りなど、いちき串木野市らしさを感じられる案内-展示、物販、飲食機能を駅周辺に取り入れることで、市民にも来訪者にも分かりやすい玄関口になります。ただし、観光客だけに依存せず、市民の日常利用を基本にすることが重要です。 実施にあたっては、最初から大規模整備を行うのではなく、社会実験、効果検証、本整備の順で段階的に進めることを提案します。例えば、仮設ベンチ、キッチンカー、マルシェ、学生イベント、歩行者空間の試験運用などを行い、利用状況や住民意見を確認した上で本格整備につなげるなど。 また、整備効果を検証するため、駅前広場の滞在者数、歩行者数、公共交通利用者数、空き店舗数、新規出店数、駅周辺人口、若年 子育て世帯の転入数、市民満足度などの指標を設定し、継続的に確認することが必要です。 本構想は、駅前の見た目を整えるだけでなく、公共交通の維持、地域経済の活性化、移住定住、子育て支援、高齢者の外出支援、防災、防犯にも関わる重要な計画です。そのため、都市計画、交通、商工観光、子育て、福祉、防災、財政などの関係部署が連携し、住民、事業者、交通事業者学校、商工会、金融機関等が参画する協議体を設けることが望まれます。 以上のことから、本構想には、交通結節機能、ウォーカブルな公共空間、若者、子育て支援、空き店舗活用、移住定住、民間連携、効果検証を一体的に盛り込み、誰もが使いやすく、将来の人口増加にもつながる先進的で実効性のある駅周辺開発として進めることを要望します。 住みやすく、誰からも愛され続ける市として発展していくよう、成功事例として結実させていただきたいと考えております。		
9	個人	1. 提案の基本理念 「これからのいちき串木野を担う若者が、誇りを持って帰ってこられる強靱なまちづくり」大学卒業後のUターン層が定住を決める条件は、「安全」「教育・福祉」「生活利便性」の3要素が揃うことです。本跡地をこれらすべての課題を解決する「次世代型地方創生モデル」として定義することを提案します。 2. 【行政エリア】命と学びを守るレジリエンス拠点 ①異常気象に対応した地下雨水貯水槽の整備 ・現状と課題：近年の激甚化する降雨により、日出町・袴田エリアからの雨水が旭町や麓地区へ流入し、深刻な浸水被害を引き起こすリスクが高まっています。 ・提案：跡地地下に大規模な「雨水貯水槽」を設置する。 ・意義：災害に強い物理的な安全を担保することは、若年層が家を建て、定住を決める際の「絶対条件」です。 ②教育格差と地域格差を是正する「給食提供型」学習支援センター ・現状と課題：現在の支援センターは市来地区にあり、利用児童の多くが串木野地区からバス等を利用して移動せざるを得ない負担（12月議会答弁より）が生じています。また、不登校生徒は学校給食という「食育」からも切り離されています。 ・提案：串木野市街地の中心である本跡地に、学校給食センターと連携した食事提供を行う「学習支援センター」を整備。 ・意義：移動負担を解消し、登校の有無に関わらず「市がすべての子どもの健康と学びを	若い世代が安心して定住できる環境づくりを目的とした、総合的なまちづくりの方向性に関するご提案として承ります。 雨水貯水槽及び広域防災駐車場等については、跡地における防災機能に関するご提案として承ります。跡地周辺に浸水が想定される区域があることから、防災機能については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 学習支援センター、一時避難機能、アートスペース等については、教育、福祉、子育て支援及び文化・交流に関するご提案として承ります。本構想では、「学びと遊び」をコンセプトに、知識・情報獲得、探求・挑戦等を跡地の「顔」となる機能として整理しているところであり、具体的な導入機能、施設規模及び運営方法等については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 小児科、育児用品専門店等については、子育て世帯の生活利便性の向上に関するご提案として承ります。民間施設の誘致については、民間事業者の意向等を踏まえ、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。 また、周辺環境に関するご意見については、跡地活用に当たっての周辺環境との調和に関するご意見として承ります。具体的な土地利用及び施設配置等については、周辺環境への影響にも留意しながら、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。	無

No.	意見提出者	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	構想への 反映の有無
		保障する」姿勢を示すことは、多様な生き方を尊重する先進的なまちとしての強力なメッセージになります。 ③孤立と悲劇を防ぐ「ママー時避難シェルター」 ・提案：DVや深刻な家庭問題により命の危険や精神的限界を感じた母親が、長期滞在施設へ繋がる前に、半日～1日程度「即座に」一時避難できるシェルターを併設。 ・意義：追い込まれる前に「まず逃げ込める場所」が街中にあることで、育児孤立や家庭内悲劇を未然に防ぐセーフティネットとして機能させます。 ④文化・感性を育む「アートのスペース」 ・提案：創造スペースを確保。文化的な刺激のある日常は、都市部から戻った若者のシビックプライドを醸成します。 3. 【民間エリア】生活の「市外依存」を解消するインフラ ①小児科および育児用品専門店の誘致 ・現状と課題：現在、子育て世代は小児科受診や子供服購入のために、薩摩川内市や鹿児島市への移動を強いられており、時間と消費が市外へ流出しています。 ・提案：小児科クリニックおよび子供服・用品店を優先的に誘致し、市内で子育てが完結する利便性を確保する。 ②多目的「広域防災駐車場」の確保 ・提案：商業・行政の利便性を高める駐車場を整備し、災害時には避難車両や支援物資の集積拠点（防災ハブ）となる設計。 4. 【最重要確認事項】周辺環境（騒音・臭気）の抜本的解決 ・現状の懸念：跡地周辺では現在も食肉工場が稼働しており、動物の鳴き声や環境負荷が確認されています。 ・この問題が未解決のままでは、小児科や教育施設の機能は著しく損なわれ、民間投資も冷え込む恐れがあります。		
10	個人	外でバスケットができるコートや子どもたち（小さい子から高校生まで）がパッと立ち寄れるような遊べる場など、色んな年齢層の方が利用できる施設がほしい。 また、駅近にコーヒーテイクアウトができるようなお店、買い物ができるスーパー、図書館、体験学習ができる施設、自転車貸出等があるとありがたい。（ほか同旨意見 1 件）	跡地に導入する遊び場、飲食、図書館及び暮らし・生活機能に関するご提案として承ります。 具体的な導入機能、施設規模及び配置等については、今後、基本計画等の段階において検討して参ります。	無
11	個人	跡地利用の構想に「市の発展を 下支えする機能」として「子育て支援機能」が挙げられているが、駅やICに近い立地を考えれば、若い世代の定住促進につなげるためにも重要な機能だと思われる。子育て世代に不可欠な施設として保育所が立地することは計画全体にとっても有効な要素と考えられるので、ぜひ検討を進めてほしい。	跡地に導入する子育て支援機能に関するご意見として承ります。 本構想における子育て支援機能は、子育て世帯が利用しやすい機能の方向性を整理したものであり、現時点において、保育施設の整備を位置づけるものではありません。 具体的な導入機能については、今後、基本計画等の段階において、市としての整備方針、必要性、施設規模、配置及び既存施設等との役割分担を踏まえ、検討して参ります。	無

【提出意見数 12件（同旨意見を含む）】